

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属 保健衛生部生活衛生課管理計画係

問合せ先 03 - 5803 - 1223

1 補助金の名称等

3年度調査

補助金の名称	出会いの湯事業補助金							
根拠規定等	文京区出会いの湯事業補助金交付要綱							
創設年月	平成	20	年	3	月	経過年数 〔自動計算〕	13年	終了予定年月
見直し年月	平成	23	年	3	月	経過年数 〔自動計算〕	10年	
見直しの内容	補助金交付申請に係る要綱の一部改正、出会いの湯事業の実施期間及び実施回数の見直し、文言の整理。							
予算科目	款	項		目		大事業	中事業	計画事業番号
	6 衛生費	1 保健衛生費		1 保健衛生総務費		6 公衆浴場補助等	1 浴場需要対策費補助	
補助金の種別	<input type="checkbox"/> 奨励的補助 <input checked="" type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給							

2 補助金の概要

補助目的	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律(昭和56年法律第68号)第4条に基づき、区内の公衆浴場(以下「公衆浴場」という。)の需要対策事業を補助し、もって区民の公衆浴場を利用する機会の確保及び拡大を図ることを目的とする。						
補助事業等の内容	「出会いの湯事業」とは、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合文京支部(以下「組合」という。)に加入している各浴場が、公衆浴場利用の拡大、地域コミュニティ及び区民の健康活性化に資するため、自ら実施するイベント、PR活動、特別湯等をいう。補助対象事業は、次に掲げる入浴事業とする。 (1)各浴場が個別に計画し実施する出会いの湯事業 (2)全浴場又は一部の浴場が合同で計画し実施する出会いの湯事業						
補助対象経費の内容	補助金の額は、出会いの湯事業の実施1回につき、補助金の算出とする。ただし、補助金の交付総額は、当該年度の予算措置の範囲内とする。						
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他						
	[特定の相手方に補助している場合は具体的に記入] 文京浴場組合加盟店(豊川浴泉、大黒湯、白山浴場、ふくの湯)						
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 (補助率) <input type="checkbox"/> 定額 (補助額)						
	<input type="checkbox"/> 補助単価 (補助単価 単位) <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	[その他の場合は具体的に記入] 1 各浴場が個別に計画し実施する補助対象事業に要した費用(ただし、100,000円を限度とする。) 2 全浴場又は一部の浴場が合同で計画し実施する補助対象事業に要した費用を参加浴場数で除して得た額(ただし、1浴場当たり、100,000円を限度とする。) なお、補助対象事業の実施期間が2月以上の場合は、当該月数を事業の実施回数とみなすことができる。 この補助金は、当該年度の四半期ごとに、当該期間中に行った事業に要した費用の合計額を交付する。 [定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入]						
公募の状況	非公募						
実績報告書時における用途の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 成果物 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
補助・単独の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 区単独 負担割合 区 国 都 補助対象者						
	<input type="checkbox"/> 補助(区上乘せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乘せ有り)						

〔毎月例月実績報告を提出する際、事業にかかった請求書の写し提出。〕

3 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
交付(見込み)件数	24	20	19	16
決算(予算)額	7,200	5,900	5,500	4,800
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	7,200	5,900	5,500	4,800
交付実績の特記事項	・平成31年3月31日歌舞伎湯廃業、令和2年10月31日富士見湯廃業。			

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	本事業を通じて地域住民に対して、入浴文化の発信を行うことができ、浴場による賑わいを創出することができた。
課題	新型コロナウイルス感染症により減少した事業利用者を、同感染症収束後回復させることが課題である。
今後の方向性	引き続き本事業を実施することで、公衆浴場を利用する機会の確保及び拡大を図る。